



北海道支部ニュース 第59号

公社) 日本分析化学会北海道支部 2019 年 7 月

巻 頭 言

公益社団法人日本分析化学会 北海道支部支部長

伊藤 慎二 (北海道科学大学)



今、日本分析化学会の大きな問題として、会員数の減少が挙げられています。その対策の一環として、小、中学生、高校生から分析化学を知ってもらい、その中から将来、分析化学会で活躍するような人材が育てばとの目的から、ジュニア会員の枠が設定されました。今年の第 79 回分析化学討論会(北九州)においては、高校生に分析化学の面白さを知ってもらうための試みとして、「分析化学体験実験」の実施や、高校生によるポスター発表が新たに設けられていました。さて、来年は北海道支部で第 80 回分析化学討論会(北海道教育大学札幌キャンパス)を開催することになっています。この討論会においても、将来の会員増に繋がるような、高校生参加型のイベントが設けられればと思っていますところです。北海道支部は分析化学会の中で最も小さな支部ではありますが、支部会員の様々なご協力によりオール北海道で一丸となり、第 80 回分析化学討論会に取り組んで行きたいと思っています。是非、身近な大学院生、学部学生や高専生に参加を促していただければ幸いです。

支部では、今年度も様々な行事を予定しておりますので、会員の皆様におかれましては奮ってご参加いただけますようお願い申し上げます。夏

の行事としましては、6 月 29・30 日に「第 35 回分析化学緑陰セミナー」が、北海道大学理学研究院の藤井翔先生を実行委員長として支笏湖にて開催されます。この支部ニュースが発行される頃には報告記事も掲載される予定です。さらに、7 月 20 日には「2019 年夏季研究発表会」が苫小牧で行われます。分析化学会の担当は苫小牧高専の奥田弥生先生にお願いしております。

秋・冬の行事としましては、11 月 16 日には、「北海道地区化学教育研究協議会」が、北海道大学地球環境科学研究院の中田耕先生を世話人として札幌で開催予定ですし、さらに、11 月下旬頃に「2019 年度公開セミナー」を、室蘭工業大学の高瀬舞先生が室蘭開催で計画しております。年明けの 2020 年 1 月 11・12 日には、会員交流の場として恒例の「氷雪セミナー」が行われます。第 55 回となる今年度のセミナーは太美温泉(石狩)での開催となり、酪農学園大学の中谷暢丈先生にお世話いただくことになっております。また、1 月 28・29 日には「化学系学協会北海道支部 2020 年冬季研究発表会」が札幌で行われます。分析化学会の担当は、北海道大学工学研究院の真栄城正寿先生にお願いしてあります。

(いとう・しんじ)

これからの行事予定



2019 年 夏季研究発表会

日本化学会北海道支部 2019 年夏季研究発表会が、7 月 20 日(土) 苫小牧工業高等専門学校(〒059-1275 苫小牧市字錦岡 443 番地)において開催されます(主催: 日本化学会北海道支部、共催: 日本分析化学会北海道支部ほか)。口頭発表 92 件に加え、特別講演として今井英貴先生(日本 CCS 調査株式

会社)には「苫小牧における CCS 実証試験について」と題して、また川合眞紀先生(日本化学会会長・自然科学研究機構分子科学研究所)には昨年引き続き「世界の化学会を目指して」とのタイトルでお話いただく予定となっております。

(苫小牧高等工業専門学校・奥田弥生)

2019 年度 公開セミナー

今年度のセミナーでは、既存の分析手法に新たな概念や材料を持ち込むことにより、分野横断的な分析および分析化学、解析にもとづいて研究をすすめておられる異なる研究分野の講師をお招きし、お話頂きます。技術革新めざましい昨今においても、「ものづくり」と分析化学

をつなぎ、世界をリードする研究へと発展させる、古き伝統の測定、評価法が数多く存在します。

今と昔、大きな変革の波の中を生きる研究者から直接お話を聞くことのできる貴重な機会です。是非、室蘭まで足をお運び頂ければ幸いです。

日時 : 2019 年 11 月 下旬頃(詳細日程は決まり次第ご連絡致します。)

場所 : 室蘭工業大学(北海道室蘭市水元町 27-1)

講演内容 : 「固体材料「同定」のこころみー電子トラップ密度解析による固体構造評価」(仮題)

大谷文章 先生(北海道大学触媒科学研究所) 他全 2 件程度

(室蘭工業大学大学院工学研究科・高瀬 舞)

2019 年 北海道地区化学教育研究協議会

本会は教育研究所附属理科教育センターと日本化学会北海道支部化学教育協議会により準備運営され、日本化学会および日本分析化学会両北海道支部から支援されている行事です。昭和 30 年代初頭から 60 年以上に渡って開催されています。化学教育に関する特別講演のほか、小中高校大学で化学教育に携わっている先生の提言も行われます。多くの皆さまのご参加をお待ち申し上げます。

期日 : 2019 年 11 月 16 日(土) 10:00~16:30

会場 : 北海道科学大学サテライトキャンパス

(札幌市中央区北 3 条東 1 丁目 1-1 JR 札幌病院隣接)

講演 : 演題「未定」



国立教育政策研究所教育課程研究センター研究開発部
教育課程調査官 野内頼一氏(予定)

提言：「理科(化学)教育における小・中・高・大学での取り組み」
・小学校教員による提言 ・中学校教員による提言・高等学校
教員による提言・大学教員による提言

自由討論：「小・中・高・大学での研究実践と課題に関する
討論」(1 時間程度)

参加費：無料

申込先：069-0834 江別市文京台東町 42 番地
北海道立教育研究所附属理科教育センター内
北海道地区化学教育研究協議会係 林 昭宏
電話 011-386-4534、FAX 011-386-4977、
E-mail: a-hayashi@hokkaido-c.ed.jp

(北海道大学大学院地球環境科学研究院・中田 耕)



【会場入り口】(写真上) 駐車場の中を直進すると右手に入り口(写真下)があります。

第 55 回 氷雪セミナー

日本分析化学会北海道支部主催の第 55 回氷雪セミナーが 2020 年 1 月 11 日(土)～12 日(日)に石狩郡当別町「ふとみ銘泉万葉の湯」で開催されます。

今回のセミナーでは、「北海道の自然と産業の将来」をテーマとして 3 名の講師にご講演いただく予定となっております。

札幌市周辺でここ数年出沒する頻度が多くなり、最近では 2019 年 6 月江別市野幌森林公園に 78 年ぶりに出沒したヒグマに関連して、野生のヒグマの現状と人との共存に関する内容について、酪農学園大学の佐藤喜和先生にご講演いただきます。

国内有数の米どころである北海道空知地域周辺における水稻栽培の現状や、全国的に取り組む直播栽培とその課題に関する内容について、拓殖大学北海道短期大学の岡田

佳菜子先生にご講演いただきます。

また、安定同位体比を用いたツキノワグマの食性解析や食品の産地判別に関する研究を精力的に展開されておられる国立研究開発法人森林総合研究所の中下留美子先生をお招きして、安定同位体比を用いた最近の研究事例についてご講演いただく予定です。

当日はできるだけ多くの皆様にご参加いただくとともに、講演後には温泉にゆっくり浸かっていただき、講師の先生を交えて親睦を深めていただければ幸いです。

(酪農学園大学農食環境学群・中谷暢丈)

日時：2020 年 1 月 11 日(土)13:00～12 日(日)～10:00

場所：ふとみ銘泉万葉の湯(〒061-3776 石狩郡当別町太美町 1695)

講演者：佐藤 喜和 先生(酪農学園大学農食環境学群・教授)

岡田 佳菜子 先生(拓殖大学短期大学部農学ビジネス学科・准教授)

中下 留美子 先生(国立研究開発法人森林総合研究所・主任研究員)

これまでの終了行事報告



第54回 氷雪セミナー

第54回氷雪セミナーは、平成31年（2019年）1月12日（土）～13日（日）の日程で
ガトーキングダム シャトレゼサッポロ（札幌市北区東茨戸 132）において開催された。



参加者は27名で、伊藤慎二北海道支部長の開会あいさつから始まり、3件の講演が行われた。杉浦健一先生（首都大学東京大学院理学研究科科学専攻教授）から「拡張π電子系と分析化学」と題する講演、高橋昌志先生（北海道大学大学院農学研究院教授）から「ウシ生産性向上のための受精卵移植分野における卵子、受精卵の品質評価」と題する講演、

高橋浩三先生（システム・インスツルメンツ株式会社光応用研究員）から「光導波路分光測定装置の開発・基礎・応用展開」と題する講演をいただき、活発な質疑応答が行われた。

その後、大宴会場ミユスカデで講師の先生も交え新年会が行われ、参加者の近況が披露された。さらに、別室で懇親会が行われ、大いに交流が深められた。13日は朝食後記念撮影を行い解散した。

終了後、有志により第80回分析化学討論会懇親会場候補の下見も行った。ご厚意により謝金も辞退された3名の講師の先生方をはじめ、年明けの忙しいところお越しいただいた参加者の皆様に厚く御礼申し上げる。来年は、中谷暢丈幹事の担当で開催される予定である。

（北海道大学大学院地球環境科学研究院・山田幸司）



「第54回氷雪セミナー」集合写真
ガトーキングダム
シャトレゼサッポロにて

化学系学協会北海道支部 2019年冬季研究発表会

化学系学協会北海道支部 2019年冬季研究発表会（共催：日本分析化学会・日本化学会・触媒学会・電気化学会・腐食防食学会・表面技術協会・石油学会の各北海道支部）が、2019年1月22日（火）・23日（水）の両日、北海道大学創成科学研究棟で開催されました。

178件の一般講演（口頭発表102件およびポスター発表76件）と1件の特別講演が行われ、活発な質疑応答や議論がありました。

特別講演には、京都大学工学研究科の陰山洋先生をお招きし、「ヒドリドが拓く化学のフロン

ティア」と題してご講演いただきました。

また例年通り、学生の講演に対して優秀講演賞が選定され、各所属校で受賞者へ表彰状を授与しました（口頭発表9件、ポスター発表3件）。参加登録者数は321名（一般97名、学生

224名)でした。1月22日(火)の19時から、北海道大学創成科学研究棟レストラン「ポプラ」にて懇親会が開催されました。陰山先生を含め37名(一般:27名、学生:10名)の参加のもと、盛況な会となりました。

今年の冬季研発表会においても、経費削減と実行委員の負担軽減のために、要旨集の電子化と参加申込のweb登録、プログラム集の廃止を踏襲しました。

また今回は、高騰する会場費の抑制のため創成科学研究棟で初めて開催されました。北海道大学北キャンパスにある創成科学棟は、これまでの学術交流会館やフロンティア応用科学研究棟に比べてやや交通の便が悪いものの、心配さ

れていた天候にも恵まれ、大きな混乱はなかったものと思います。創成科学研究棟での継続開催は予定されておりましたが、会場費の問題とそれに伴う実行委員の負担増については引き続き各学協会及び支部長連絡会で検討が必要です。

加えてここ数年の冬季研では、全体の12～15%が「分析化学・センサー」関連の講演でしたが、今回の冬季研では6%(11件)とやや少ないものとなりました。今後も冬季研の運営にご理解いただくとともに、積極的な参加にご協力いただければ幸いです。

(北海道大学大学院工学研究院・渡慶次 学)

第35回 分析化学緑陰セミナー

第35回分析化学緑陰セミナーが令和元年6月29日(土)、30日(日)の両日、支笏湖ユースホテルで開催されました。



今年度は「分析化学と多様性」をテーマに、5件の依頼講演と16件のポスター発表、参加者48名(学生33名)の規模で開催されました。講演においては研究分野の多様性のみならず、大学、企業、高専、財団における多様な研究機関の特色、キャリアパスなども伺う事が出来ました。

北海道大学薬学研究院の鈴木基史先生からは「放射線によって誘導される細胞周期チェッ

クポイントの意義」と題して、放射線治療の更なる発展、最適化に向けて、細胞周期チェックポイントと呼ばれる細胞防護機構に着目したご講演をいただきました。日立製作所の Normann Mertig 先生からは「Research and Open Innovation at Hitachi Hokudai Laboratory」と題して、新概念コンピュータや情報科学に基づくデータ分析技術のご講演を英語にてご発



表いただきました。北海道大学 獣医学研究院の片倉賢先生からは「寄生虫四方山話: 寄生虫の進化および寄生虫と自己免疫疾患・アレルギー・ダイエット・癌との関連について」と題して、腸内細菌や寄生虫、先端分析機器による診断など多岐にわたる話題をご丁寧にご講演いただきました。鶴岡工業高等専門学校の荒船博之先生からは「共振ずり測定を利用したイオン液体界面の潤滑挙動解析」と題して、閉じ込めナノ空間における液体の特異性と摩擦潤滑への展開についてご講演いただきました。公益財団法人塩事業センターの峯尾隼人先生からは「海水総合研究所における研究事例の紹介」と題して、食塩の製造工程や各研究における分析装置の改良に関する技術的な知識までご発表いただきました。

ポスター発表においては、発表の前にフラッシュプレゼンテーションを行いました。持ち時間の1分間に研究の魅力を伝えるべく、学生の皆さんはよく考えて臨んでいる印象を受けました。討論中は学生同士で活発に議論しており、実験技術や結果の解釈についての情報交換を介



した学生間の交流が進んでいました。また、参加者全員の投票によって優秀ポスター賞が2件選ばれました。賞状や記念品は後日郵送という事もあり、2名の学生には受賞スピーチを行って頂き、受賞の喜びと今後の意気込みを語ってもらいました。

懇親会では幹事で用意した飲み物に加えて、各研究室から多くの差し入れを頂戴し、多様な飲み物と共に招待講演者、支部の教員、学生諸子の交流を深める事が出来ました。研究室紹介も行われ、各研究室の雰囲気や特色が伝わる緑陰セミナーならではの懇親会になっていたと思います。



今年の会場である支笏湖ユースホステルは、日本ユースホステル協会直営第一号として昭和35年に建てられ、緑陰セミナーで初めて使う施設でした。現在の支部長、伊藤慎二先生が第8回緑陰セミナーの幹事をされて以来の支笏湖開催でもあり、いろいろな縁を感じる会場となりました。偶然にも開催日に支笏湖湖水まつり花火大会が重なり、夕食後、湖畔に向かい、湖面に浮かぶ花火も楽しむことが出来ました。このように、今回の緑陰セミナーは夏の文化にも触れる機会があり、テーマである「分析化学と多様性」を全うした二日間であったと自負しております。来年も北海道支部の学生や研究者が交流を深められるよう多数の参加を期待しております。

(北海道大学大学院理学研究院・藤井 翔)

2018 年度 会計報告の概要

【支 出】

【収 入】

臨時雇賃金	240,000	支部費	896,200
会議費	9,458	印税収入	7,854
旅費交通費	255,900	受取利息	23
通信運搬費	43,713	収入合計(A)	904,077
消耗品費	25,740	当期収支差額(A・B)	Δ487,570
印刷製本費	16,630		
支払助成金	280,000		
内部支払助成金	465,196		
委託費	32,076		
表彰費	21,044		
雑費	1,890		
支出合計(B)	1,391,647		



2019 年度 事業計画

開催日	事業名	開催地	担当幹事
4 月 20 日(土)	第 1 回幹事会	札幌	支部長
6 月 29・30 日(土・日)	第 35 回分析化学緑陰セミナー	千歳	藤井翔
7 月 20 日(土)	2019 年夏季研究発表会	苫小牧	奥田弥生
7 月中旬	支部ニュース第 59 号	-	佐々木隆浩 徳光藍
7 月 26・27 日(金・土)	若手交流事業(九州支部へ派遣)	唐津	山田幸司 三原義広
9 月中旬	2020 年度役員候補者選考委員会	札幌	支部長
10 月 11 日(金)	2020 年度学会賞等受賞候補者推薦及び 2019 年度北海道分析化学各賞受賞者選考委員会	札幌	支部長
10 月 11 日(金)	第 2 回幹事会	札幌	支部長
11 月 16 日(土)	北海道地区化学教育研究協議会	札幌	中田耕
11 月下旬	2019 年度公開セミナー	室蘭	高瀬舞
12 月中旬	支部ニュース第 60 号	-	佐々木隆浩 徳光藍
1 月 11・12 日(土・日)	第 55 回氷雪セミナー	当別	中谷暢丈
1 月 28・29 日(火・水)	化学系学協会北海道支部 2020 年冬季研究発表会	札幌	真栄城正寿
1 月 29 日(水)	2019 年度北海道分析化学各賞授賞式	札幌	支部長
2 月下旬	審議会(第 3 回幹事会)	札幌	支部長

支部役員

支部長 伊藤 慎二 (北海道科学大学)
副支部長 蠣崎 悌司 (北海道教育大学)
副支部長 渡慶次 学 (北海道大学)
庶務幹事 三原 義広 (北海道科学大学)
庶務幹事 三浦 篤志 (北海道大学)
会計幹事 石田 晃彦 (北海道大学)
会計幹事 坂入 正敏 (北海道大学)
監事 加藤 昌子 (北海道大学)
監事 宇都 正幸 (北見工業大学)
他 参与 15 名・幹事 41 名

事務局

〒006-8585
札幌市手稲区前田 7 条 15 丁目 4-1
北海道科学大学内
公益社団法人日本分析化学会北海道支部
支部長 伊藤慎二
TEL: 011-676-8618 (支部長)
事務局秘書 氏間多伊子
E-mail: jsac-hb@w9.dion.ne.jp

支部会員の欄

この欄では北海道支部の転入や転出、新入会などの情報をお伝えします。
「ぶんせき」誌(2018 年 12 月号～2019 年 5 月号)「お知らせ欄」から転載しています。
なお、今春以降にご入会の会員は次号に掲載させていただきます。

新入会のみなさん
(敬称略、順不同)

姉帯 一樹 (旭川工業高等専門学校)
谷 友里江 (北見工業大学大学院工学研究科)
野島明瑞美 (北海道大学大学院総合化学院)
池田 晋吾 (北海道大学大学院総合化学院)

編集後記

支部ニュース第 59 号をお届けいたします。
この度、ご多忙の中、ご執筆頂きました伊藤支部長をはじめ執筆者の皆様には、この場を借りまして厚くお礼申し上げます。本号から佐々木隆浩(北海道医療大学、再任)と、徳光 藍(北海道大学、新任)との二人体制で編集を行なっています。北海道支部の活動がますます活発

になりますようにニュースを通じて貢献したいと思います。

今回、新入会の皆様を迎え、今後も益々活発な支部活動となるように尽力してきたいと思っていますので、今後とも、ご指導ご鞭撻いただければ幸いです。

(編集委員 : 佐々木隆浩・徳光藍)

公益社団法人日本分析化学会北海道支部事務局

札幌市手稲区前田7条 15 丁目 4-1 北海道科学大学薬学部内
支部長 伊藤慎二

TEL : 011-676-8618

E-mail : jsac-hb@w9.dion.ne.jp

URL : <http://www.jsac.or.jp/~hokkaido/index.html>

北海道支部ニュース第59号

編集・発行

公益社団法人
日本分析化学会北海道支部

発行日

2019 年 7 月 20 日